

平成 29 年 2 月 1 日発行

石神井町さくら保育園

〒177-0041

練馬区石神井町 7-25-45

TEL 3997-0070

FAX 3997-0972

さくら新聞

～笑顔 de 共育で～



月の主題

寒さに負けずに！

今月の保育のねらい

健康に留意し、寒さに負けず元気に過ごす

如月の素敵なマーチの中で活動する子どもたち

保育園の園庭の池に厚い氷が張り、庭にはうっすら白い霜が降りたかと思えば、園庭の梅が開き、園の入り口の河津桜の蕾がふつくらしてきました。真冬と小さな春の誕生を告げる日が交互に訪れ、マーチを重ねながら優しい春へと季節がゆつくり、ゆつくり移動する如月です。

0歳児や1歳児の子どもたちは空気が冷たく寒さを感じると泣き出したりしますが、年齢が大きくなるとくるりと風をきってあそぶ姿が見られます。この時季の自然に触れながら、それぞれの年齢にあった活動していきたいと思えます。

挨拶から始まる人とのつながり

朝、目覚めて最初に発生する『ことば』それは家庭においても保育園においても同様で、「おはよう」「おはようございます」という、ひらがな4文字・9文字のことばですが、何と響きのよいことばでしょう。朝一番の挨拶は、「今日も一日が始まるよー！」という気持ちになります。

毎朝、保育園の門扉を開けてくださるシルバの渡邊さんと田畑さんは、門を開けながらあたたかく挨拶をしてくださっています。その挨拶に応えるように子どもたちが自然な形の「おはようござ



と返す挨拶は見えていて大変心地よい光景です。誰からも強いられることなく、子どもたちからすすんで挨拶する姿こそ、人として当たり前に身に付けていくべきふるまいだと思います。

- とほいうもの**
- 園舎内に入った時、「おはよう」の一言が出ないこともあります。そんな時、「ほら、先生におはようでしょ！」と「挨拶できないと恥ずかしいよ」と言ってしまう大人。その言葉よりも、大人が挨拶を交わす姿を見せることが何よりの学びになると思います。
- やがて、心の中でやってみようという気持ちが生ええると、思いと行動が重なり、必ず自ら挨拶ができるようになります。決して、強制するものではありません。何気なく行っている挨拶のもつ意味やその力はコミュニケーションを取り合う上で非常に重要なもので積極的に行えば行うほど人とのつながりが増していきます。
- ①自分から挨拶をすると気持ちが良くなる
 - ②笑顔になる機会が増える
 - ③人間関係がよくなる
 - ④挨拶から会話が始まる
 - ⑤思い立ったらすぐに始められる

大人の立場で挨拶から得られる効果を考えてみると

石神井町さくら保育園の中が、さらに、挨拶の宝箱になることを願っています。

卒園式のおしらせ

卒園式を3月11日(土)に行います。 ※園全体でやしぐみの子どもたちの卒園をお祝いしたいと思います。式に参加する園児はくりぐみです。お休みをしないようご協力お願いします。 式に参加する保護者はやし組の保護者

2月 行事予定

日	曜日	内容
2	木	3歳児保護者会
3	金	節分
7	火	身体計測(幼児)
8	水	身体計測(乳児) 4歳児保護者会
9	木	さくらアートくらぶ(3歳児)
13	月	運動あそび(幼児)
14	火	おはなし会
17	金	さくらアートくらぶ(4歳児)
23	木	光和小学校との交流会(5歳児) 0歳児健診
25	土	入園内定児説明会&面接
27	月	運動あそび(幼児)

※今月の避難訓練も予告無しで行います
※予告なしの防犯訓練を行います
1・15・22日⇒さくらんぼくらぶ
1・22日⇒家庭的保育者受託児のふれあいランチ